

事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされておりますので、保護者様・来訪者様等の閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

東京都福祉サービス第三者評価(2022年度) 評価結果報告書

2023年3月29日

社会福祉法人つばみ会
西新井保育園

御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構
認証評価機関番号 機構 03 一
電話番号 03-6279-0331
代表者氏名 理事長 中込 重秋



以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野			
	①	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営		
	②	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営		
	③	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営		
	④	H1001023	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営		
	⑤		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営		
	⑥		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営		
福祉サービス種別	認可保育所					
評価対象事業所名称	西新井保育園					
事業所連絡先	〒	123-0841				
	所在地	東京都足立区西新井2-21-2				
	TEL	03-3898-4291				
事業所代表者氏名	宮崎 敦之					
契約日	2022年 8月 1日					
利用者調査票配布日(実施日)	2022年 12月 2日					
利用者調査結果報告日	2023年 2月 14日					
自己評価の調査票配布日	2022年 11月 11日					
自己評価結果報告日	2023年 2月 14日					
訪問調査日	2023年 2月 20日					
評価合議日	2023年 2月 20日					
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	<p>・利用者調査は共通評価項目により、インターネットでのウェブアンケート形態で実施した。また調査開始時に書面の配付やポスター掲示などで保護者の理解促進を図るほか、開始後には提出御礼と未提出者への呼びかけを兼ねたチラシを全対象者に配付し、必要に応じ提出期限を延長するなど、回答率向上にも努めた。</p> <p>・事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がより的確なものとなるよう配慮した。</p>					

	1 理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人を大切にする保育。 ・子どもを子どもと捉えず、一人の人間として関わる。 ・子どもが自分で成長する力を信じ、大人がやってあげるのではなく自分でできる・遊べる環境を整えていく。 ・職員の業務省略することによって、定時退社の徹底や子どもの為に使える時間を増やす。
	2 期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>子どもを子どもと捉えない為の意識を持ち、先入観で物を見ないような存在。また、自分で考えやってみる事を前提に業務へ臨む姿勢。</p>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持つて欲しい使命感)</p> <p>自分も環境の一部であることを自覚し、いつでも見られている意識を持つこと。その中で子どもが自分で成長する為には何が必要であるかを考え続ける事。</p>

調査対象	調査開始時点での当園の利用世帯96(在籍児童数113)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。				
調査方法	調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国语世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。				
利用者総数	113				
利用者家族総数(世帯)	96				
共通評価項目による調査対象者数	96				
共通評価項目による調査の有効回答者数	32				
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	33.3				

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」18.8%・「満足」40.6%の計59.4%で、設問別では「食事」「急な残業等への配慮」「保護者に配慮した行事日程」など全17問中4問で80~90%台の高い支持を得ており、「整理整頓・清潔」「外部相談窓口の周知」「安全対策」「戸外活動」では50%を下回っている。

自由意見では「先生の雰囲気がよく、アプリの連絡帳も便利で、毎日クラスの様子をアップしてくれ、どんなことをして過ごしていたかがわかり、持ち物が少ないのでありがたく、まごと、折り紙、ぬりえ、工作、パズル等々、一人ひとりがやりたい遊びをさせてくれ、年少から年長は異年齢保育なのもとてもよい」「その日の出来事を写真付きで報告してくれるのが大変うれしく、毎日楽しみにしており、食事は決まった先生が毎度担当し、寄り添いながらゆったりと楽しい雰囲気で揃っている点や、すべての先生が他学年の子どもの名前を呼んで挨拶してくれる点もよい」「医者に寄るなどの理由での遅刻が可能で、建物の新しさ、床暖房であるのがよい」などの声が寄せられている。

さらなる向上を望む意見としては、保育内容、職員の休職・退職や人員配置、保健衛生に関することなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	23	6	3	0
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が71.9%、「どちらともいえない」が18.8%、「いいえ」が9.4%となっている。				
自由意見は7件で、「保育園のおかげでたくさんしゃべれるようになり、靴や靴下なども自分で脱ぎたがるようになり、人見知りで泣くことがなくなった」「子どもはわらべ歌が覚えやすいようで、家でも歌うほど気に入っている」などのほか、就学支援を含む活動内容の充実、職員の接遇や衛生管理について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	24	7	1	0
'はい'が75.0%、「どちらともいえない」が21.9%、「いいえ」が3.1%となっている。				
自由意見は5件で、「ニジマスクみどり」というイベントがあり、触ったり観察するだけでなく、捌くところも見せてくれる貴重な経験で、毎月COEとハッピータイムがあり、造形教室や段ボールで大きなクリスマスツリーを作るなどいろいろ工夫してくれる」「造形では、家で絵の具を使った遊びはなかなかできないので、子ども自身も興味関心を持って取り組んでいるのがよくわかる」のほか、日頃の活動内容や玩具のさらなる充実を望む声があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	29	3	0	0
'はい'が90.6%、「どちらともいえない」が9.4%となっている。				
自由意見は3件で、「世界のメニュー」や「地域のメニュー」を提供する日があってよいと思う」「子どもが毎日楽しみにしているようだ」のほか、おやつの内容等について、さらなる工夫を望む声が見られる。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	14	10	8	0
<p>「はい」が43.8%、「どちらともいえない」が31.3%、「いいえ」が25.0%となっている。 自由意見は11件で、「園庭もあり遊具もあり、のびのび遊べていてとてもいいと思う」「園庭で遊ぶだけでなく公園にも連れていってくれる」「園庭で遊べるようになってからは天気のいい日は戸外に出られるようになってよかったです」とのほか、戸外活動や行事、社会体験、園庭等のさらなる充実を望む声や、その一因となっているコロナ禍に言及する内容が見られる。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	23	2	1	6
<p>「はい」が88.5%、「どちらともいえない」が7.7%、「いいえ」が3.8%となっている。 自由意見は4件で、「急遽残業になり連絡した際、温かい言葉をかけてもらいホッとした気持ちになれた」「快く受け入れてもらえる雰囲気はありがたい」「土曜日利用についても柔軟に対応してくれている」のほか、スポットでの延長保育利用について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	14	13	5	0
<p>「はい」が43.8%、「どちらともいえない」が40.6%、「いいえ」が15.6%となっている。 自由意見は6件で、人員配置や保育中の安全管理、設備面、感染症対策について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	26	1	3	2
<p>「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が3.3%、「いいえ」が10.0%となっている。 自由意見は4件で、「運動会や発表会が土曜日なので、仕事が休みやすいからよい」のほか、行事の日程等における各家庭の負担や就労等への配慮について、さらなる検討を望む声が見られる。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	19	9	4	0
<p>「はい」が59.4%、「どちらともいえない」が28.1%、「いいえ」が12.5%となっている。 自由意見は8件で、「連絡帳に困っていることなどを書くと送迎時に話を聞いてくれたりして、相談しやすいと感じる」「悩んでいることなど気軽に相談できるよい環境である」「先生の雰囲気はとてもよく、いつも笑顔で迎えてくれ安心でき、イライラ・ピリピリした様子は感じたことがない」のほか、日頃の子どもの様子などの報告、職員の接遇や相談対応などについて、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	10	11	11	0
<p>「はい」が31.3%、「どちらともいえない」が34.4%、「いいえ」が34.4%となっている。 自由意見は15件で、「施設が新しくなり、室内の環境はとてもよい」のほか、衛生管理や階段・廊下・玄関の清掃などについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	17	6	9	0
<p>「はい」が53.1%、「どちらともいえない」が18.8%、「いいえ」が28.1%となっている。 自由意見は10件で、「明るい雰囲気の先生が多くていいと思う」のほか、職員の服装・身だしなみや保護者・子どもへの接遇について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	23	6	3	0
<p>「はい」が71.9%、「どちらともいえない」が18.8%、「いいえ」が9.4%となっている。 自由意見は4件で、「体調が悪そだと先生から気づいてくれて、熱があると別室で待機させてもらっているよう安心できる」「ぶつけたりして、少し赤くなっている程度でも教えてくれる」のほか、ケガの把握・対応や保護者への連絡、保育中の安全衛生管理について、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	15	9	3	5
<p>「はい」が55.6%、「どちらともいえない」が33.3%、「いいえ」が11.1%となっている。 自由意見は3件で、「登園時にお友達ともめてしまつたことがあったが、その後どんな様子でどう仲直りしたのか、お迎えの時にこちらが聞く前に先生の方から教えてくれた」のほか、子ども同士のトラブル等の把握や職員配置について、さらなる配慮を望む声があつた。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	26	5	1	0
<p>「はい」が81.3%、「どちらともいえない」が15.6%、「いいえ」が3.1%となっている。 自由意見は4件で、「連絡帳によく『(子どもの名前)の気持ちを受け止めながら』という文が出てくるので、子どもの気持ちを大切にしているのだと感じる」「子どもがなついているので、信頼しているのだと思う」のほか、職員の対応について、さらなる配慮を望む声が見られた。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	19	8	2	3
<p>「はい」が65.5%、「どちらともいえない」が27.6%、「いいえ」が6.9%となっている。 自由意見は3件で、「ケースになったことがなく不明である」や、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	18	9	5	0
<p>「はい」が56.3%、「どちらともいえない」が28.1%、「いいえ」が15.6%となっている。 自由意見は6件で、子どもの成長・発達や日頃の生活、保育内容等の保護者との共有について、さらなる工夫を望む声が寄せられている。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	16	11	3	2
<p>「はい」が53.3%、「どちらともいえない」が36.7%、「いいえ」が10.0%となっている。 自由意見は5件で、不満・要望等への傾聴姿勢や対応などについて、さらなる配慮を望む声があつた。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	11	9	8	4
<p>「はい」が39.3%、「どちらともいえない」が32.1%、「いいえ」が28.6%となっている。 自由意見には記入がなかった。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリー1(1-1) 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7 評点(○○)
評価 標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(○○)		
評価 標準項目		
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(○○○)		
評価 標準項目		
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー1の講評		
法人の目指す保育や子どもの育ちのあり方について、職員や保護者への周知を図っている 法人として「これまで持っていた“子ども像”的既成概念を振り払い、それぞれの子どもを一人の人間として尊重する、世界基準の教育を追求」することを標榜し、今後の日本と世界の社会や生活のありようを見すえ、子どもたちが生きる力を自ら育み、「せかいのどこにいても豊かに生きることができる人」となる、その基礎を培うことを目指している。職員にはこれらを入職時及びその後の法人による各種研修などにより、また保護者には見学・入園時の説明や、保護者会・保育参観等でのより具体的な園の保育への理解を通じ、周知と浸透を図っている。		
経営層が運営や保育を統括し、職員への園の方針の発信や、現場との連携に努めている 園長・副園長を中心に、経営層が日常の園運営や保育の統括と、判断・決定の主導的役割を担い、経営層を含む各職位・職種の職責が、事業計画に記載の職務分担表に一覧化されている。また毎月の職員会議で、直近の内外の話題や園の諸課題に関する方針を職員に発信するほか、各クラスの会議にも同席し、保育や子どもへの関わりにおいて望まれる姿勢などを伝えている。乳・幼児リーダーとの連携にも努めるなど、現場の状況の把握や組織としての認識の共有を重視し、組織の同僚性の向上や、その前提となる、ゆとりある労働環境の整備を課題としている。		
園としての意思決定と、必要な情報を職員や保護者に周知させる手順を定めている 園長・副園長または経営層による随時の話し合いにより、運営・保育全般の園全体としての検討・決定を行い、経営層と各クラス代表が集う毎月の職員会議で決定事項等を職員に伝える流れを、意思決定の基本的な手順としている。決定事項等の必要な情報は、議事録や出席者からの各クラスでの報告によって他の職員に周知され、保護者には連絡通信アプリでの配信を基本に、必要に応じ書面の掲示・配付も行い、各種の重要事項を伝えている。園の方針や保育の取組等について、保護者へのより的確な発信に努め、共通理解や信頼関係を深めたいと考えている。		

カテゴリーアー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリーア(2-1)	
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリーハの標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	評点(○○○○○○)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		
		評点(○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		
		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者・職員の意向の把握や、それらも反映させた各種計画の作成・実行がなされている</p> <p>運動会などの行事後には、保護者から感想などを募るほか、毎日のコミュニケーションや定期・随時の個別面談、保護者会なども意向の把握の機会としている。職員の意向は前述の各会議と業務内外の会話、個別の面談などから把握するほか、経営層には人事考課の際に現場職員からも評価が行われ、その中で寄せられた意見が法人を通じて伝えられ、内容に応じて園運営にも活かされている。またこれらの保護者・職員の意向は、保育・行事などの日常業務や、それらの具体的な取組内容・ねらい等を定めた各計画、業務ごとの年間計画にも反映されている。</p>		
<p>地域の状況や行政・業界の動向の把握、法人と連携した園の経営状況の管理を行っている</p> <p>入園前の見学や説明会で来園する未就園世帯を対象に、園選びで重視する点などを尋ねるアンケートを実施し、ニーズ把握の参考としている。また区の私立園長会や保・幼・小の連絡会、小学校を拠点とした「開かれた学校づくり協議会」への参加、自治体・法人の各種発信や法人内系列園園長会などを通じ、区内・地域内の保育・教育や子育て等に関する状況や、関連する行政・業界の動向を把握している。園の予算の作成とその執行管理など、園の経営状況の管理は法人本部が主導して行い、法人・園間で、状況の共有や必要な稟議・決裁がなされている。</p>		
<p>中・長期と年度の重点課題等を示す各計画の作成と、「園考課」による評価を行っている</p> <p>「中長期経営計画」に、施設設備及び乳児・幼児の保育について、5か年の各年度の重点課題と、見込まれる予算の概算を記載し、当年度を起点として毎年度更新する仕組みが設けられている。また年度の事業計画に、保育及び給食・食育の充実に関する方針・取組、保健と園内外の研修や渉外活動の概要・予定、職務分担表のほか、「所信」として乳児・乳幼児・幼児の保育における重点課題を記載している。これらも反映される「園考課」により、各項目に設定される3段階の目標を指標として半期ごとに法人・園が評価を行い、達成度を測る仕組みとなっている。</p>		

カテゴリー3			
3 経営における社会的責任			
	サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	評点(○○)		
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	評点(○○)		
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝える	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	評点(○○)		
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当	

サブカテゴリー3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5
---------------------	-------------------	-----

評価項目1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

入職時の教育や人事考課を通じ、職員に求められる種々の規範の確認が促されている

職員には入職時に、子どもや保護者への接遇、就業規則に定める社会人・職員としての各種の服務規律などに関する啓発がなされ、経験・担当クラス及び職種に応じて行われる個別的人事考課においても、挨拶・マナー・規律の遵守、協調性などに関する項目が設けられている。また法人による「園考課」の際に、子どもへの働きかけや園内の美観の維持などについて、法人の幹部から指摘と指導がなされている。職員の身だしなみ等については、利用者調査結果も踏まえ、園・法人の方針などについて、保護者との相互理解を図ることも一考されたい。

虐待等の防止に関する関係機関との連携や、保護者の意向への対応に取り組んでいる

法人の「虐待防止や対応に関する実施要項(規程)」を常備するほか、虐待等の疑いや事例が生じた場合の連携先機関を定め、懸念のある子ども・家庭に関する情報の共有・交換や、必要な支援を行う関係を確保している。苦情解決制度を整備し、入園時に保護者に説明を行うほか、毎日のコミュニケーション等を通じて保護者の要望・苦情等を把握し、案件に応じ個別に面談の席を設けたり、法人と連携して対応などしている。苦情解決制度の保護者への周知については、利用者調査ではさらなる工夫の必要性も示唆されており、検討が望まれる。

地域との交流・連携に取り組み、子育て家庭への支援の拡充を課題としている

ホームページや足立区を通じた情報発信や実習生の受け入れなど、透明性の確保を図るとともに、区の全体・ブロック別の私立保育所園長会や保・幼・小の連絡会、近隣の小学校を拠点とした「開かれた学校づくり協議会」への参画により、地域内の保育・教育施設間の連携に加わっている。地域への支援として、見学で来園する未就園世帯への相談対応や、連携する家庭的保育者(保育ママ)の担当する未就園児への「代替保育」を行っている。過年度には園庭開放や行事への招待なども行っており、それらの再開を含め、地域支援の拡充を図りたいと考えている。

カテゴリーアイテム																				
4 リスクマネジメント																				
サブカテゴリーアイテム																				
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリーメートルスケール	4/5																		
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	評点(○○○○●)																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>○あり ●なし</td><td>3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当	○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	サブカテゴリーアイテム	
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当																		
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリーメートルスケール	4/4																		
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	評点(○○○○)																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当	カタゴリー4の講評				
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当																		
毎月の避難訓練による災害への備えや、会議での看護師による啓発がなされている																				
毎月の避難訓練実施により、災害時の対応や、子どもの引き渡し等に関する保護者との連携を確認している。今年度は実施は一定の時間帯にはほぼ固定させ、避難方法の確実な習得を図っており、朝夕の延長時間帯や土曜などの少人数の状況など、多様なケースを想定しての実施も今後期待されるほか、感染症等と併せ、事業継続計画(BCP)の整備と周知も待たれる。また不審者対策訓練についても、侵入や戸外での遭遇を想定して行なわれている。毎月の会議では、看護師が発生した事故の報告や、感染症予防や衛生管理などに関する啓発を行っている。																				
組織内に担当委員会を設置し、安全の向上のための事例の共有や対策の検討を行っている																				
子どものケガなどの保育中の事故は、病院受診の有無など、受傷の度合に応じ、事例の詳細と発生時の状況の確認、原因・対策の検討などを行うとともに、組織内の周知や区への報告を行うこととなっている。また「事故発生防止委員会」を設置し、種々のケガや誤飲など、各種の事故の未遂事例を中心に、前月の事例の共有と防止対策の検討を行うとともに、上記の看護師の報告やメンバーによる各クラスでの展開により、園全体の安全向上につなげる仕組みとしている。報道を踏まえ、子どもの置き去り・閉じ込め防止についても、同委員会で話し合われている。																				
各種情報の適切な利用と漏洩の防止のため、管理の環境や仕組みを整えている																				
法人の規程やホームページにも掲載される個人情報保護方針に、利用目的や開示・訂正等の請求への対応を含め、個人情報の取り扱いの原則を示すほか、就業規則に電子・書類の各種情報の管理や機密保持に関する規定を設けている。職員には入職時、実習生等には活動開始前に、これらに関連する啓発を行い、保護者には入園時に、子どもの氏名・肖像の利用に関する同意を確認している。重要書類や端末機器類の施錠管理、端末やソフトウェアのログイン制限、電子データの法人内の共用サーバでの管理・共有と端末への非保存など、漏洩の防止にも配慮している。																				

カテゴリーアイ		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリーアイ(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリーエの標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	

サブカテゴリー2(5-2)														
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	3/3												
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(○○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当												
カテゴリー5の講評														
<p>法人全体で人材の確保に努め、各職員の育成・処遇に関する仕組みを整えている</p> <p>法人が系列各園の協力のもとで、各種関連業者・養成機関との連携や採用専用サイトなど、多様な方法で職員の募集・採用を行うほか、各園の状況に応じた配属・異動を行っている。また職員の就業状況の管理の仕組みを整えるほか、所定の時間内の退勤を原則とする「定時出勤定時退社制度」を設けている。職員自己評価では人的体制の充実を含む現場の労働環境に課題も示されており、経営層もそれを認識し、法人とも連携して対応を図る意向である。法人共通の職員の育成・処遇の仕組みとして、上下相互に評価をする「360度評価」制度が設けられている。</p> <p>職位・職種ごとの能力・職責の指標と、法人内のさまざまな研鑽の場が整備されている</p> <p>上記の人事考課制度では、項目として職位・職種ごとに求める能力・職責が設定され、これが職員のキャリアパスの機能も果たすものと考えられる。各職員は自身及び上位者に望まれる能力や職責を、考課を通じて確認する仕組みとなっているほか、経験・職位及び職種に応じた研鑽やわらべ歌等に関する専門性向上を促す、法人内の各種研修が設けられ、各研修の受講者を付記した年間計画を作成している。各クラスで現状の課題を抽出し、外部講師による視察と、講師を交えた話し合いによって保育の充実に活かす研修も、当園を含む各園で設けられている。</p> <p>職員の能力・意欲の向上と、組織内の気づきや課題の共有・解決の仕組みを設けている</p> <p>人事考課では各職員が半期単位で自身の目標を設定し、所定の項目に基づく自己・上司評価と園長との面談により、これらの進捗や成果を確認しており、考課を処遇の参考とすることで、意欲の向上にもつなげる仕組みとしている。また上記を含む法人内外の各種研修を通じ、保育の各分野やマネジメント・保健衛生・食事等に関する各職員の研鑽を促すほか、各クラスの会議での子どもや保育・行事などに関する直近の課題の検討や、職員会議でのその報告・共有とその他の諸課題を含む話し合いなど、組織内の気づきや課題の共有・検討がなされている。</p>														

カテゴリーカテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリー1(7-1) 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 足立区直営園からの民間移管の5年目となる昨年度は、かねて進められていた新園舎の建築工事が完了し、年末に新園舎への引っ越しを行った。それに伴い、新たな環境のもとでの各年齢の保育の実施、0歳児の受け入れや異年齢保育の開始など、旧園舎当時からの変更もさまざまにあったことから、組織内の情報や理解の共有と、各職員の能力向上が急務となつた。これを踏まえ、経営層による各種の会議等での啓発や個別の教育と併せ、法人内外の研修の参加を促し、各人の専門性を高めることに取り組んだ。また足立区の巡回指導の仕組みも活用し、来園する指導者の支援のもとで、課題の抽出と検討を進めた。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 研修の履修は順次進められたが、法人の保育の理念とする「自分の目で見て、自分の足で確かめ、自分の頭で考え、自分の言葉で意志を伝えられる」力を子どもに培う保育の実践については、経営層は課題を認識しており、浸透には時間が必要であると考えている。今年度も引き続き、新人以降の年数別・職位別の研鑽、わらべ歌・文学・美術やマネジメントなどの分野・担当別の研修など、各人の経験・職位・職種や個別の状況に応じ、内外での研鑽を促している。またその組織への還元についても強化を図ることとして、事業計画にもその旨を記載している。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

上記「評価項目1」に既述の通り、昨年度は新園舎が年度途中に完成し、子ども・職員とも新たな環境で生活を送ることとなった。これに伴い、保育の提供や種々の物品の収納などについて、組織全体で話し合いを重ね、運用方法を検討した。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

安全衛生管理や保育の進め方等について、職員一同で細かく打ち合わせをしていく中で、管理の仕方などを随時修正し、最適化を図った。また新年度開始前にも、保育室の使い方や収納の仕方などについて、全職員での研修を行うほか、今年度も職員会議等で設備・備品や行事・保育その他の話し合いを重ねている。

さまざまな物品の収納と管理、保育室の環境の活用については、現場の実践の蓄積によって各職員が習熟していく必要があり、引き続き課題としている。また備品・消耗品類や玩具・教材類など、物品の保管場所と数量をはじめ、それらを文書化し、マニュアルとして共有していく必要性も認識されている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目																
	サブカテゴリー1																
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4															
<p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p>評点(○○○○)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当															
<p>サブカテゴリー1の講評</p> <p>ホームページやパンフレットを通じて、系列園共通の取組や園の情報を発信している</p> <p>運営法人のホームページでは、系列園共通の保育理念「一人ひとりを大切に」のもと目指す保育と教育、保育の特色などの情報が掲載されるほか、ホームページから視聴可能な、法人理事長が出演する動画によっても紹介が行われている。本園を紹介するページでは、施設の情報としての所在地や連絡先、開園時間や保育時間、定員や実費負担額の情報を、園舎内・外の写真を添えて紹介している。ホームページに掲載される施設や系列園共通の情報を端的にまとめた、パンフレットを作成し、見学者に配付している。</p> <p>区の各種媒体を通じて園の情報が発信され、パンフレットも設置されている</p> <p>施設の情報は、所在する区の保育コンシェルジュに提供されており、区の公式サイト内のさまざまなページから発信されている。認可保育所一覧のページでは、区内にある認可保育所の所在地や連絡先、定員数や開園時間等の情報が一覧化され、リンクによって、詳細な情報を紹介するページに接続されている。また区の冊子「保育施設利用申込案内」にも、認可保育所一覧ページで発信する情報を掲載している。見学者に配付する園のパンフレットは、区の保育コンシェルジュの窓口に設置され、窓口を訪れた未就園世帯が、自由に持ち帰られるようになっている。</p> <p>見学では、活動内容や保育の特色を説明し、質問に応じている</p> <p>見学は、子どもの活動している様子が見られる、平日の午前中を基本に、電話等で申し込みがあった際に、日程を調整しており、見学者の都合等の状況に応じ、平日の午後にも行うなど、柔軟な対応に努めている。園内案内時に、子どもが活動している内容のほか、保育の特色を説明している。乳児担当制保育や幼児の異年齢保育、楽しく身体を動かす中で心身のコントロールや危機回避の能力を培う「COE教室(コーディネーショントレーニング)」やわらべ歌などについて説明し、見学者からの質問に適宜応じるほか、後日の電話による質問を受け付けている。</p>																	

サブカテゴリー2														
2 サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6												
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(○○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		(●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
(●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当												
(●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当												
(●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(○○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		(●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
(●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当												
(●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当												
(●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当												
サブカテゴリー2の講評														
利用開始にあたっての説明と同意確認を行っている 園の利用開始にあたっての説明は、入園前の個別面談時に行っている。「しおり(重要事項説明書)」に沿って、施設概要や保育内容、個人情報の取り扱い等の重要な事項のほか、登園や保健等に関する約束事などを説明しており、持ち物はわかりやすいよう、サンプルを用意して伝えている。質疑応答によって疑問等の解消を図るとともに、これをもって説明に対する同意確認とするほか、個人情報の取り扱いに関する同意は、書面にて確認を行っている。 入園前の面談では、保育開始に必要な情報確認を行い、入園後の支援に活かしている 入園後の保育開始に備え、入園前の個別の面談では、入園後の支援に必要な保護者や子どもの状況を確認している。入園が内定した世帯から提出される、「家庭状況書」や「入園まで生活状況表」等をもとに、保護者の就労等の状況や意向のほか、子どもの発達や健康の状態、生活状況を確認し、必要に応じて提出書類に不足情報を追記している。食物アレルギーや疾患等の配慮事項は、詳細状況を確認し、個別の援助に活かせるよう、栄養士や看護師が面談に同席している。個別の配慮事項は組織内での共有を図り、共通認識のもとで援助を行えるようにしている。 利用の開始時や終了時には親子の不安に配慮し、関係の継続にも努めている 入園当初の子どもの不安やストレスに配慮できるよう、5日間を目安に保育時間を徐々に延ばしてゆく「慣らし保育」を行っている。保護者の就労への復帰や子どもの状況に応じた期間を設け、期間中の子どもの様子に応じて日程を調整している。育児担当制によって、保育者との早期の信頼関係の形成を図り、保護者が安心できるよう、降園時には、丁寧な報告等を心がけている。利用終了時には、随時の来園を受け入れることを、保護者に伝えている。きょうだいが在園する卒園児の行事への参加を受け入れている。														

サブカテゴリー3																				
3 個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ一毎の標準項目実施状況	12／12																		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(○○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(○○○○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当																		

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの成長・発達を記録し、多面的な姿の把握に向け、会議の進め方を改善している

体格的な成長は身体測定の結果を記録し、保護者にも結果を伝えている。予防接種の接種状況・園で行う健診の結果などの保健情報は、「健康カード」に記録している。心身の発達については、主な発達の現れに関する年齢別のリストを用いて確認するほか、子どもの全般的な姿についても記録し、2歳児までは個別の月次の参考としている。子どもの多面的な姿へ対応できるよう、子どもの姿の職員間の共有に努めており、今年度はクラス会議の議事録を改善し、保育実践に情報を活用するため、話し合いの情報を分類して記録するようにしている。

全体的な計画をもとに、年齢別・異年齢の活動の実践への保育計画を作成している

保育方針・園の保育目標のほか、年齢別の養護と教育のねらい等が記載された全体的な計画をもとに、長期・短期の保育計画を作成している。今年度から幼児は異年齢保育となっており、育ちの流れを把握する年・月の計画については、異年齢のほかに年齢別のねらいや配慮も立て、週・日の計画は、異年齢で作成している。また幼児においては、課業に関する楽を立てて実践につなげるほか、行事を実施する際にはレジュメを作成して、ねらいや流れ・配慮・準備などを明らかにし、実施の写真なども記録して次回への参考としている。

保護者会や掲示物を通じて、保育内容に関する保護者の理解を得られるよう努めている

保護者会や個人面談のほか、発信物・掲示物等を通じて、保育内容に関する保護者の理解を得られるよう努めている。年4回のクラス便りやクラスごとにリモート実施する保護者会で、日課や保育の目標などについて説明するほか、個人面談では保護者と子どもの様子を伝え合っている。日々の送迎時の対話や連絡帳において、保護者に子どもの様子をエピソードを添えて伝え、3歳以上児については、毎日の異年齢クラスの活動の様子も配信している。行事の際には掲示物を作成して、取組の経過や活動内容、子どもの様子を伝えている。

サブカテゴリー5														
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5												
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している														
評点(○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している														
評点(○○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当												
サブカテゴリー5の講評														
<p>子どものプライバシーや羞恥心への配慮、情報の保護に努めている</p> <p>おむつ替えは基本的にはトイレで行っており、3歳以上児が使うトイレには、扉付きの個室を用意している。排せつの失敗には、子どもに恥ずかしい気持ちがあることに配慮し、他児に気づかれないよう、さりげなく援助している。着替えの際にはロールスクリーンを下ろすなど、他からの視界を遮ることができるように配慮するほか、援助する際には全裸にならないよう上下順で行うこととし、自分でできる子どもたちにもその旨を伝えている。子どもの情報を外部とやり取りする必要が生じた場合には、そのつど保護者の同意を得るようにしている。</p> <p>適切な保育提供に向け、基準作りに取り組み、啓発によって職員の意識を高めている</p> <p>子どもとの適切な関わりについての系列園共通の基準づくりに、系列各園が連携しながら、現在取り組んでいる。子どもの人権に配慮した保育に向け、職員には園長から、否定語の使用禁止や、活動は子ども主体で行い、大人の都合とならないことなどを伝え、現場で気なる言動があれば、適宜注意、指導することとしている。今年度、他県で発生した、職員による虐待の報道を受け、区から発信物をもとに、職員への注意喚起によって、啓発を行っている。</p> <p>虐待防止の手引書を整備し、事例共有や研鑽等によって理解が深まるようにしている</p> <p>園に備えている「虐待防止や対応に関する実施要領」には、虐待防止に関わる園の責任と役割や、早期発見のポイント、通告などが示され、職員は登園時や着替えの折の視診等によって、虐待の早期発見に努め、兆候を察知した際は、関係機関への通告と連携を図る仕組みとなっている。関係機関から案件があった場合は、状況に応じて組織内で共有を図ることとしている。法人が行うキャリアアップ研修にて、育児困難家庭を含む保護者支援を対象職員が受講しており、組織全体で理解を深められよう、報告書の閲覧によって、知見の共有を図っている。</p>														

サブカテゴリー6														
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5												
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(○○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当												
サブカテゴリー6の講評														
園のとしての手引書が整備され、基準づくりに向けた取組が行われている 服装や身だしなみ、出退勤、表情や態度等の職員としての心構えを「職員ルール」に示し、個人情報や虐待防止、苦情解決に関する規程を整備するほか、公園までの経路を示した「お散歩マップ」や、「園庭危険防止マニュアル」を園が制作している。また保健や食物アレルギーについては、区が作成した手引書を活用している。系列園各園が制作した手引書類は、法人のグループウェア上で閲覧可能としている。「職員ルール」等については、系列園共通の手引書作成に現在取り組んでおり、その結実に期待したい。														
法人や園の研修を通じて定められた事項の定着に取り組んでいる 職員の入職時の法人研修では、マナーや接遇について学ぶほか、園では「しおり(重要事項説明書)」の確認によって、理念・方針等の重要点への理解を促している。また折々の会議では、看護師の指導による嘔吐処理の手順確認が行われほか、上述の「園庭危険防止マニュアル」の共有を図っている。また消防署が行う普通救急救命訓練を3年に1回職員が受講するなど、各種研鑽の機会を通じて、定められた事項の定着に取り組んでいる。														
園運営の見直しに、保護者や職員の意見等を活かしている 保護者の意向は、日々の保護者との会話時や保護者会の出欠確認時に把握するほか、行事後のアンケートで寄せられる感想から課題を抽出し、次年度の企画の見直しの参考としており、寄せられた意見は、今年度から園便りを通じて保護者に報告をしている。職員の意見や提案は、年4回の園長との面談のほか、日々の会話や各会議で把握し、園運営の見直しに活かしている。園に設けた「事故発生防止委員会」では、安全の確保に向けた課題の検討と対策を行っており、今年度制作した「園庭危険防止マニュアル」は、外部の専門機関と連携しながら作っている。														

III サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35／35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(○○○○○○)	
	評価	標準項目	
(●)あり (○)なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	(○)非該当	
(●)あり (○)なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	(○)非該当	
(●)あり (○)なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	(○)非該当	
(●)あり (○)なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	(○)非該当	
(●)あり (○)なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	(○)非該当	
(●)あり (○)なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	(○)非該当	
	評価項目1の講評		
	子どもの発達や興味の状況を把握し、環境の工夫に努めている 子どもたちの発達は、園での生活や遊びの姿、保護者から聞き取った家庭での様子などから把握し記録している。日々の体調や情緒については、登園時の様子は観察や連絡帳などから把握している。子どもの発達を踏まえて、それぞれが興味を持ち、自ら手を伸ばして遊びを選択できるようコーナーを設定し、玩具の内容や配置、設置の高さなどの工夫に努めており、遊びの発展やブームが去るなどの様子に変化が見られた際には、コーナーの広さや遊び同士の親和性などを踏まえたコーナーの位置関係についても配慮している。		
	文化の多様性に触れる機会を設けるほか、異年齢保育・小学校との連携に取り組んでいる 文化の多様性に触れる機会として、七夕・節分などの伝承行事や季節の祭事に取り組んでおり、行事のいわれなどを絵本等を使って伝えるほか、行事の象徴物をテーマにした制作・歌・食事などの活動を関連させて行っている。今年度より幼児では異年齢保育を取り入れており、年上児が年下児に寄り添い、手伝ったり教えてあげたりする姿が見られるほか、年下児が年上児のそばで、遊びを見ながらやってみようとするなど、年齢相互の育ち合いが促されている。また小学校と連携を図り、体験給食や学芸会の鑑賞に出かけている。		
	子ども同士のトラブルへの対応では、発達状況に応じた援助に努めている かみつき・引っかきへの対応では、子どもたちの状況から、できるだけ未然に防ぐことができるよう職員間で情報を共有し、玩具の数や空間構成、職員と子どもの位置関係などへの工夫に努めており、起こってしまった時には、仲立ちや代弁を行っている。言葉でのやり取りができる子どもの場合には、手が出てしまう場合は止めるが、思い通りにならない体験や葛藤も大切と考えており、自分の思いを伝える力を養えるようできる限り見守り、言葉が激しく、罵るような言動や一方的になっている際には仲裁し、言葉の使い方を教えている。		

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(○○○○)

評価		標準項目	
●あり	○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登降園時には保護者と子どもの状況を伝え合っている

登園時には、受け入れを担当する保育者が子どもの顔色・機嫌、目に見える範囲の傷の有無などを確認するほか、保護者から子どもの健康面や情緒面の状況を聞き取るようにしている。視診時に把握した内容は、職員間の口頭伝達のほか、情報伝達用の記録簿を用意して記録し、共有している。降園時には、保護者にはできる限りその日の子どものエピソードを伝えるよう努めており、担任以外の職員が担当する場合あっても、保護者に必要な情報を伝えられるようにしている。

育児担当制を採用し、一人ひとりの個性を把握した援助に取り組んでいる

2歳児までは育児担当制とし、食事・排せつ・衣服の着脱など身辺の援助ができる限り決まった保育者が行っている。保育者と子どもが愛着関係を築き、いつも同じ援助を行えるようにすることで、子どもが心地よく生活しながら、さまざまな所作を身につけられるようにしており、子どもの発達や意欲を踏まえるだけでなく、一人ひとりの仕草や癖に応じている。排せつの自立への援助は、子どもの排尿間隔や意欲などを踏まえながら、子どもに無理のないよう進めており、園での取組を保護者にも伝え、パンツや服の準備など協力を呼びかけている。

生活習慣の定着に努め、休息は個々の必要に応じて取れるようにしている

手洗いや片づけなどの生活面の援助は、自分で気づいて行動できるよう見守りながら、問い合わせや声かけなどの援助に努めているほか、大人が正しく片づける姿を子どもの前で見せることを大切にしている。またクラスの一員として、皆で使うものを丁寧に扱うことや、次の人のために片づけることなどへの意識を持つようになることを目標として取り組んでいる。休息は、子どもの気持ちや体力面への配慮から、できる限り一人ひとりの状況への対応に努めており、場所や時間を確保するほか、お茶を用意していくでも水分補給できるようにしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

自発的にさまざまな要素の遊びを選び、楽しめるように、環境構成の工夫に努めている

子どもたちの発達や興味の状況を把握し、子どもたちが自発的にさまざまな要素の遊びを選び、楽しめるように、環境構成の工夫に努めている。歩行の確立期にある0歳児では、粗大運動を行えるスロープや押し箱を用意するほか、子どもの指先の巧緻性の発達に合わせた玩具の入れ替えに取り組んでいる。他のクラスにおいても、構成遊びの要素を持つ玩具の難易度や細かさの見直しを行い、まごとコーナーではさまざまなものに見立てられる抽象的なものの数や量に変化を持たせるほか、季節や興味に合わせて絵本の内容を変えるなどの工夫に努めている。

発達に合わせて集団活動を援助し、子どもが決まりの大切さを体験する場も設けている

子どもが周りの人を意識する力や関わる力のほか、興味や遊びの方向性を見極めて援助に努めており、手遊びや絵本の読み聞かせを行うほか、小集団でのやり取りの遊びが楽しめる環境を用意したり、わらべ歌を探り入れたりするなど、集団活動の楽しさを体験できるようにしている。また手洗いの順番を待ったり、玩具と一緒に使ったりすることのほか、ルールのある遊びを体験して楽しむことによって、決まりを守ることの大切さを学ぶようにしており、部屋や道具の使い方を皆で話し合う時間を設け、責任感や協調性を育んでいる。

子どもたちの感性を育み、運動機能の発達を促すさまざまな活動を行っている

絵本はいつでも手に取れるように配置し、制作活動ではさまざまな素材や道具を体験するとともに、表現する楽しさを味わえるようにしている。園庭は四季を感じられる環境となっており、桜や紅葉の木が植えられている。散歩では子どもたちの発達や遊ぶ内容によって距離や場所を変えており、公園や散歩の途中では、四季折々の草木の変化や自然の不思議に出会いことで季節に触れ、虫の探索や採集、観察などを楽しんでいる。また外部講師による身体を動かす運動も採り入れ、体力を増進し、運動機能の発達を促している。

4評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(○○○)

評価		標準項目	
●あり	○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

体験を通じて、心身の成長を促すさまざまな行事が年間を通じて行われている

季節の祭事のほか、遠足・夏祭り・運動会・お楽しみ会など、さまざまな体験を通じて、心身の成長を促す行事が年間を通じて行われております。子どもたちの興味・関心を寄せるものや、できるようになったことなどを踏まえることを大切にしている。実施に向けてレジュメを作成しており、ねらいや流れ・配慮・準備などを明らかにし、実施後は評価・反省を行い、次回やその後の日々の保育に活かすこととしている。行事の取組の過程は、日々の送迎時に口頭で伝えるほか、写真にコメントで付した「ドキュメンテーション」を作成して保護者に伝えている。

運動会と「お楽しみ会」では日頃の活動を踏まえ、保護者に子どもの成長を伝えている

運動会では、日頃取り組んでいる体操プログラムのほか、親子で楽しむゲームや競技などに取り組んでおり、親子でふれ合いながら、子どもの身体的・精神的な成長を感じてもらう機会となっている。「お楽しみ会(発表会)」では劇に取り組んでおり、子どもに負担がなく、日常の姿を見せてもらうことを大切に考えている。劇中に日頃取り組んでいるわらべ歌を取り入れるほか、活動の過程においては、役を固定してせりふを覚えるというよりは、物語に対するイメージを共有して、皆でいろいろな役を演じる楽しさを味わうことを主眼に置いている。

季節の伝承行事や夏祭りなどのさまざまな行事が、保育に変化と潤いをもたらしている

端午の節句・正月・節分などの伝承行事では、保育室に写真を掲示したり、由来を伝えたりするほか、季節や行事の象徴物をモチーフにした制作、七夕の短冊・獅子舞・福笑いなどの遊びや風習、七草粥や東方巻き等の行事食などを関連させて行っており、文化を体験する機会となっている。夏祭りでは、幼児組が中心となって準備を進め、輪投げ・かき氷・たこ焼きを制作し、当日は子どもたちが浴衣や甚平に身を包み、店員になりきって声をかけるなど、やり取りを楽しんでいる。また、4・5歳児は博物館へも出かけている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

長い保育時間を健康的に過ごせるよう、健康・安全・情緒への配慮に努めている

保育時間の長い子どもたちが健康的に過ごせるよう、登園時の視診のほか、必要に応じて検温を行い、清潔を保つための手洗いや着替え・適時行う検温や水分補給・休憩の確保などさまざまな配慮に努めている。安全面への配慮にも努めており、異年齢の子どもが一緒に過ごす場合には、誤飲の可能性の少ないものを用意するほか、衝突などの危険を年上の子どもたちに話して注意を促している。また子どもが情緒面で不安を感じる場合には、スキンシップを図ったり、気分転換に園内を散歩したりするなど、安心して過ごせるようにしている。

保育時間が長くなることを考慮し、子どもたちの様子に合わせた工夫を行っている

子どもたちが好きな遊びを選べるよう環境を構成し、時間を確保するほか、戸外活動で身体を動かす活動と静かに机上や床で遊ぶ活動など、動と静のバランスを図っている。夕刻以降の保育では、同じ遊びばかりにならないよう配慮したり、普段多人数では使用しない玩具を提供したりしている。また雨天や猛暑などで戸外に出られない日が続く場合には、室内でも身体を動かす活動を取り入れ、週明けや週末などには、疲れや体調への配慮にも努めており、子どもたちの様子に合わせて柔軟に活動内容を変更している。

6.評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(○○○○)

評価		標準項目	
●あり	○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもがさまざまな食の体験ができるよう、献立の工夫に取り組んでいる

献立は法人共通のものを採用し、2週間で1サイクルのメニューとなっている。旬の食材を使い、だしを効かせた薄味を基本とし、米飯を中心に麺類も採り入れ、さまざまな調理法の料理を体験できるようにしている。また国際食や郷土料理のほか、視覚的に楽しめるように工夫が施された行事食なども提供している。苦手なものがある場合には、おいしさを伝えて誘いかけるものの無理はさせず、子どもの喫食状況は保育者と調理担当職員で共有しており、2回目以降の味つけや食材の大きさなどを工夫している。

子どもたちの食への意欲を尊重し、食材の大切さや文化を伝える食育活動を行っている

2歳児までは育児担当制を探り入れており、家庭的な雰囲気の中で落ち着いて食事を摂れるようにしている。幼児では各テーブルに料理を置き、自分で盛りつけて食べるスタイルを採用し、子どもたちの自発的な食の意欲の尊重に努めている。保育室には食材に関する絵本やまごとコーナーを用意して、調理への興味を高められるようにするほか、ニジマスのつかみ捕りの体験を通じて、食材や命の大切さを伝えている。野菜の栽培にも取り組み、食事中のマナーや伝承行事の際の行事食の提供などを通じて、食文化も伝えている。

食物アレルギー対応や離乳食の提供では、安全の確保に向けた対策を講じている

食物アレルギーへの対応として、面談を実施して子どもの状況や園での対応に関する確認をしたうえで、医師の指示書をもとに除去食の提供を行っており、毎月保護者から事前に除去内容の確認を得ている。また色別のトレイを用いて除去内容と名札を付け、他の子どもとテーブルを別にし、複数のチェックをしたうえで配膳するなど、誤配・誤食の防止に努めている。離乳食は、咀嚼や嚥下のほか食材体験も踏まえ、家庭と連携を図りながら無理なく進めることとしており、初めての食材は家庭で経験したのちに園で提供することとしている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(○○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもが自分の健康や安全に关心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に关心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に关心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目7の講評														
<p>病気の予防やケガの防止に向け、啓発によって子どもの意識を高めている</p> <p>手洗いやうがいの行為を習慣化し、病気を予防につなげられるよう、日々の生活の中で、子どもの年齢や発達に応じた方法で、各職員が促している。0歳児の受け入れに伴って看護師が配置され、年長児の就学に向け、歯磨き指導を予定しており、今後は看護師による保健指導の充実を、図りたいと園は考えている。今年度の新園舎への移行に伴い、園庭遊具の遊び方についての共通認識を職員間で図っており、これに基づいた安全な遊び方を子どもたちに伝えている。また散歩前には交通マナーを、公園では安全な遊び方を子どもたちに伝えている。</p> <p>子どもの健康の維持管理に、さまざまに取り組んでいる</p> <p>医療的ケア等の配慮事項は、主に入園時の面談で把握しており、かかりつけの医療機関からの助言の有無等も確認し、個別の援助に活かせるようにしている。日々の登園時では、職員による健康観察と保護者への確認によって子どもの健康状態を把握し、当日の配慮に活かし、子どもの体調変化やケガ等に看護師が対応している。毎月の身体測定や嘱託医が行う各種検診によって、子どもの発育や健康状態を把握し、結果は保護者とも共有し、所見があれば医療機関の受診を依頼している。緊急時に対応できるよう、嘔吐処理や救命講習等の職員への指導を行っている。</p> <p>保健に関わる情報提供に努め、保護者とともに子どもの健康を支えられるようにしている</p> <p>入園時には、子どもの体調不良による登園や、感染症に関する情報と罹患した際の登園基準、与薬などに関する約束事のほか、SIDS予防策として、午睡時の呼吸確認等の園の取組の説明によって、共通認識を図るとともに、園の取組等への理解を依頼している。子どもが感染症に罹患した際は、園内掲示によって発生状況を伝え、保護者に注意を喚起している。毎月の保健便りでは、時期に応じた感染症の情報や健康維持のための留意事項等を掲載するなど、家庭と連携して子どもの健康を、ともに支えられるよう、保健に関わる情報の提供に努めている。</p>														

8評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者への個別支援や負担の軽減に取り組んでいる

お迎えの重なり等で困難な場合もあるが、降園時には子どものその日の様子の報告に努めるなど、保護者とのコミュニケーションを図ることを心がけている。面談を含む保護者との対話を通じて、寄せられる育児の相談に助言をするほか、把握した個別事情に応じて、保育時間調整したり、延長や土曜保育を受け入れたりするなど、園として可能な範囲での支援に努めている。就労の事情による延長や土曜保育のスポット利用に柔軟に応じ、エプロン等の持ち物を、今年度から園が用意して、保護者の負担軽減を図るなどの支援にも取り組んでいる。

保護者同士の交流や保護者の養育力の支援を行えるよう、努めている

コロナ禍に伴い、保護者同士の交流機会を課題としており、今年度の発表会は保護者の参加を1名とし、運動会も保護者参加で行ったほか、昨年度は書面に代えて実施したクラス別保護者会を、今年度はオンライン形式で開催するなど保護者同士が交流の機会を設けている。クラス別の保護者会では、年齢に応じた子どもの成長・発達や特徴を伝え、個別の面談等で寄せられる育児の相談に、個別にアドバイスをしている。また今年度再開させて保育参観では、保育者と子どもの関わりを見てもらうほか、幼児クラスでは、保育を体験してもらっている。

園の取組等への保護者の理解が深められるよう、取組や子どもの様子を伝えている

オンライン形式で行った年度当初のクラス別の保護者会では、各クラスで保護者会便りを作成し、年間のクラス目標、「ハッピータイム」「コーディネーショントレーニング」、わらべ歌や造形教室などの取組のほか、2歳児では、トイレトレーニング等の年齢に合わせた保育内容を説明している。各クラス便りでも写真を活用して、特色としている取組とともに、子どもたちの様子を年4回伝え、日々の様子は、全クラスの「その日の報告」を通信アプリで配信し、行事の様子は、掲示または通信アプリで写真を配信して伝えている。

9評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

地域資源を活用した体験や職員以外の人々との交流が行われている

日々の散歩では、園周辺にある公園に行って、思い切り身体を動かして遊び、道中では出会う地域の人々と挨拶を交わしている。近隣の小学校では、今年度の幼児の運動会を開催したほか、就学に向けての授業体験が行われている。また遠足は、都内にある博物館や水族館に行っている。保育士養成校から実習生を受け入れ、子どもたちとのふれ合いが持たれている。コロナ禍に伴い、余儀なく自粛していた地域との関わりについては、交流を今後深めるなどして、充実を図りたいと考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル①	「事故発生防止委員会」を主たる場として、安全の向上に向けた種々の検討を行っている	
内容①	<p>ヒヤリハットの収集に注力し、毎月の前後半に各クラスから事例を集約するとともに、それらを中心に、組織内に「事故発生防止委員会」で共有と改善策の検討を行っている。同委員会は経営層・看護師と各クラスの代表をメンバーとし、話し合われた事例は出席者が各クラスに持ち帰り、共有を図る仕組みとなっており、転倒・打撲をはじめとする室内外での種々のケガのほか、誤飲やアレルギー事故、見失い・置き去りなど、保育中に起こりうるさまざまな危険について、予防や再発防止に向けた組織全体の啓発や、関連する子どもの発達への理解につなげている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	さまざまな体験の機会を設け、子どもたちの想像力・表現力などさまざまな心の発達を促し、身体の強さや柔軟性を培っている
	内容	子どもたちの心身の発達を促し、興味・関心を広げるさまざまな体験の機会を設けている。歩行の確立期には粗大運動によって四肢の発達を促し、手遊びや絵本の読み聞かせ、わらべ歌やごっこ遊びなどを通じて、言葉の使い方や想像力・表現力の発達を促している。外部講師による造形活動では、道具の使い方や素材の扱い、表現技法を学び、創造することや自由に表現することの楽しさを味わっているほか、体操のプログラムでは体幹を鍛え、柔軟性やバランス感覚を養っている。また戸外活動に出かけ、季節の変化や自然現象に触れている。
2	タイトル	基本的生活習慣の確立や活動意欲のよりどころとなる自己肯定感の育みに向け、育児担当制を通じた丁寧な援助を心がけている
	内容	2歳児までは育児担当制を探り入れており、日々の関わりから安心感を得て過ごせるよう、丁寧な援助を心がけている。担当制を探り入れる2歳児までは、さまざまな生活習慣を習得する時期でもあり、保育者は、一人ひとりの身体機能の状態、情緒や意欲、健康面の状態を踏まえ、家庭とも連携を図って、無理のない援助を心がけている。また3歳以上児の異年齢保育に移行したのに、体験から興味・関心を広げ、学びを得られるよう、2歳児までの丁寧な援助による生活能力の確立と、意欲的な活動のよりどころとなる、自己肯定感の育みを大切に考えている。
3	タイトル	子どもたちの成長・発達や、興味・関心のほか、遊び方や遊び同士の関連性等を踏まえた環境構成の工夫に取り組んでいる
	内容	保育室は遊びの種類ごとに複数のコーナーを設定しており、子どもたちが自由に遊びを選び、遊び込めるようにしている。用意する玩具や道具、絵本は、子どもたちの成長・発達や、興味・関心のほか、季節感のあるものや行事に関するものなど、その時々の必要を踏まえて選別・提示し、コーナー同士の位置関係や広さなどは、動線のほか、遊び方の変化や遊び同士の関連性、人気などを考慮して変更している。適切な環境構成に向けた検討や職員間の共有は、園長・副園長も参加するクラス会議のほか、発達評価を行う際や、計画策定時に行われている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者からの確かな信頼の獲得に向け、組織の共通理解の促進や、その前提となる現場の環境整備と意欲の向上を図りたいと考えている
	内容	利用者調査では総合満足度が6割弱となっており、回収率が半数に満たない点を考慮する必要はあるが、保護者からの信頼の獲得には課題が示唆されている。経営層は保護者への園の方針や取組等の発信の工夫とともに、組織内でも目指す保育のあり方等について、認識の共有をより深め、実践の質を高めることも課題と考えている。日々の会議等での啓発や対話に引き続き取り組むとともに、人的体制の充実など、若い現場の貢献に応えるための環境整備にも努め、組織の活力の源泉となる、各人の帰属意識の向上を図る意向である。今後の進展を期待したい。
2	タイトル	職員として守るべき基本的な諸事項を文書化し、組織としての共有に活かしてゆくことを課題としており、今後の取組を期待したい
	内容	今年度の新園舎への移行に伴い、園に設置の「事故発生防止委員会」において、園庭に設置した遊具の、安全な遊び方についての話し合いが行われ、予測される危険とその対策、使い方をまとめた「園庭危険防止マニュアル」の策定と共有がなされている。ただ、身だしなみ・マナーなど子どもの人権・尊厳に配慮した関わり方など、法人の保育者として守るべき共通の規範が文書化されておらず、系列各園での教育に委ねられている現状があり、明確化と共有の必要性が認識されている。今後の改善に向けた、法人・園が連携した取組を期待したい。
3	タイトル	事故防止に向けた組織内の共有・検討や、災害・侵入や感染症等への備えについて、仕組みのさらなる充実が期待される
	内容	「事故発生防止委員会」を設置し、昨年度から収集に注力するヒヤリハットを中心に、毎月の事例の報告・共有と改善策の確認を行っている。軽微なものを含むケガ等の事故についても、継続的に一定数の事例が発生しており、それらの原因や防止策の検討にもより意識的に取り組むとともに、周期的な事例の集計・分類による傾向把握など、事故防止の仕組みの強化を図ることも一考されたい。また侵入や戸外での遭遇を想定した不審者対策訓練の実施、災害・感染症等に関するBCPやマニュアルの整備と周知など、その他の諸課題についても取組を進められたい。